

低侵襲治療と外科手術による治療の比較

項目	低侵襲治療	外科手術による治療
回復の早さ	回復が早く、入院期間が短い	回復に時間がかかり、入院が長め
術後の痛み	少ない	比較的強い
傷の大きさ	小さく、目立ちにくい	大きく、目立つ場合がある
合併症リスク	比較的少ない	創部感染や腸閉塞のリスクあり
治療対象の幅	適応に制限がある	幅広い症例に対応可能
技術・設備	高度な技術と設備が必要	一般的な設備と技術で対応可能
治療費用	手術費用は高めだが入院費用が低減される傾向	手術費用は比較的安価だが入院費用は高くなる傾向
医療アクセス	対応可能設備が限られる	多くの施設で実施可能